

NYダウは小反発、FOMC議事録では大部分が時期尚早な利下げに懸念を表明

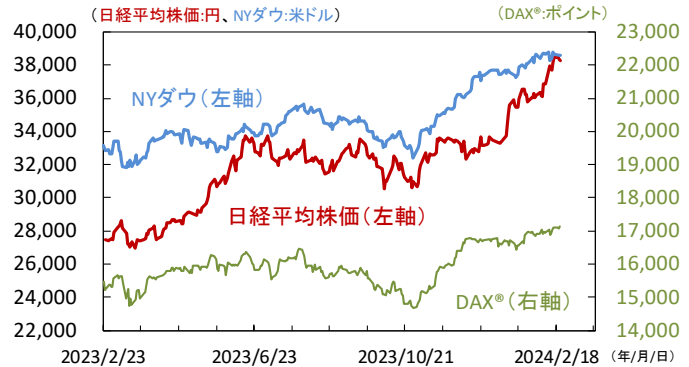
主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	2月21日	2月20日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,262.16	38,363.61	-101.45
	- CME日経平均先物(円)	38,410.00	38,295.00	115.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,627.30	2,632.30	-5.00
	参考) 東証REIT指数	1,712.07	1,707.81	4.26
米国	NYダウ(米ドル)	38,612.24	38,563.80	48.44
	S&P500	4,981.80	4,975.51	6.29
	- S&P500配当貴族指数	4,299.14	4,276.32	22.82
	ナスダック総合指数	15,580.87	15,630.78	-49.91
ドイツ	DAX®指数	17,118.12	17,068.43	49.69
英国	FTSE100指数	7,662.51	7,719.21	-56.70
豪州	S&P/ASX200指数	7,608.40	7,659.00	-50.60
香港	ハンセン指数	16,503.10	16,247.51	255.59
インド	S&P BSE SENSEX指数	72,623.09	73,057.40	-434.31
ブラジル	ボベスパ指数	130,031.58	129,916.11	115.47
先進国	MSCI WORLD	3,272.19	3,274.33	-2.14
新興国	MSCI EM	1,020.62	1,018.99	1.63
商品	(単位:米ドル)	2月21日	2月20日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	77.91	78.18	-0.27
金	COMEX先物(期近物)	2,024.50	2,030.00	-5.50
10年国債利回り	(単位:%)	2月21日	2月20日	前日差
日本		0.726	0.731	-0.005
米国		4.319	4.275	0.043
ドイツ		2.441	2.370	0.071
オーストラリア		4.194	4.199	-0.005
為替(対円)	(単位:円)	2月21日	2月20日	前日比%
米ドル		150.28	149.99	0.19
ユーロ		162.62	162.11	0.31
英ポンド		189.86	189.26	0.32
カナダドル		111.27	110.89	0.34
オーストラリア(豪)ドル		98.43	98.21	0.22
NZ(ニュージーランド)ドル		92.87	92.42	0.49
シンガポールドル		111.80	111.62	0.16
中国人民幣元		20.900	20.852	0.23
インドルピー		1.8119	1.8093	0.14
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9609	0.9575	0.36
メキシコペソ		8.815	8.780	0.39
ブラジルリアル		30.441	30.435	0.02
トルコリラ		4.839	4.847	▲0.16
ロシアルーブル		1.6334	1.6195	0.86

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。
 WTI (West Texas Intermediate) 原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所 (NYMEX) で取引される米国の代表的な原油先物。
 COMEX金先物: CMEグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。
 表の数字は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。
 前日差は原数値の比較であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。
 本資料は、作成時点でRefinitivにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「#N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、Refinitivにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載していることがあります。

出所) MSCI、Refinitivより当社経済調査室作成

主要国株式の動き



注) 直近値は2024年2月21日

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

◆マーケットの動き:

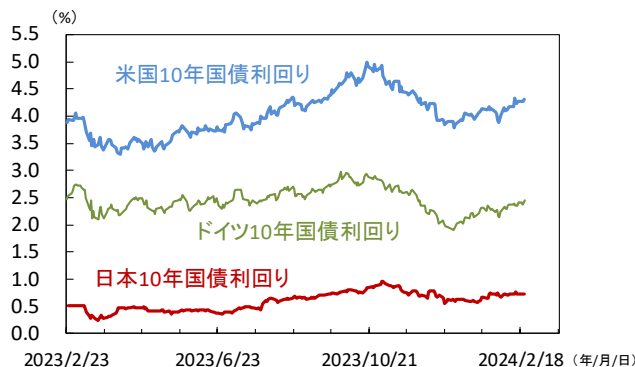
- 日本株は続落。米エヌビディア決算を控え米ハイテク株が下落した事を受け半導体関連安。銀行や保険などの金融株、鉄鋼や非鉄金属などの素材株も下落。
- NYダウは小反発。市場の引け後に、人工知能(AI)向け半導体で圧倒的シェアを占めるエヌビディアが決算を発表。今年2-4月の売上高見通しは予想を上回り、これを受けて大型ハイテク銘柄は時間外で株価が上昇。
- 米FOMC(連邦公開市場委員会)議事録(1月30-31日分)は、大部分の当局者が時期尚早な利下げに懸念を表明、高金利を長く維持するよりもリスクが大きいとの考え。
- 米リッチモンド連銀のバーキン総裁は、インフレ状況は全般的に改善しているとした上で、最新データをもみても一部セクターの物価上昇圧力はなお高過ぎると指摘。FRB(連邦準備理事会)のボウマン理事は、現在の経済環境は利下げを正当化しないとの見方を示唆。
- 米国債は年内の利下げ観測が後退する中、20年債入札の需要が弱かった事を受けて、長期債利回りは上昇。

◆本日の注目点:

2月PMIはユーロ圏の改善が予想される

日米欧の2月PMIが公表される。米国は製造業が50.7(1月:50.7)、サービス業が52.3(同52.5)と判断基準の50を超え景気拡大を示す見通し。ユーロ圏は製造業が47.0(同46.6)、サービス業が48.8(同48.4)と改善し、50を下回るも最悪期を脱しつつあるとみられる。米国ではFRBのジェファーソン副議長、クック理事、ウォラー理事の講演における利下げに関する発言に注目。(向吉)

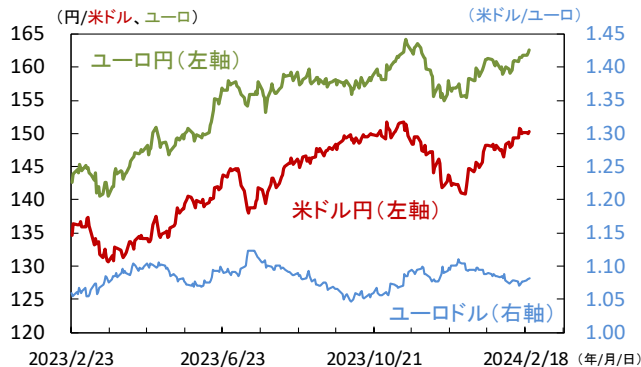
主要国金利の動き



注) 直近値は2024年2月21日

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

主要通貨の動き



注) 直近値は2024年2月21日

出所) Refinitivより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。
 TOPIX (東証株価指数)、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。
 ドイツ「DAX®」: 本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会